

令和7年6月定例会 代表質問 木下充啓議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。(各議員からの「質問」(問)に該当する部分を黄色マーキングしております。

「近鉄二上山駅前の再整備について」

○木下充啓 ただいま議長のお許しを得ましたので、香芝市議会自由民主党、木下の代表質問をさせていただきます。

今回は、大項目として、4点質問させていただきます。

1つ目に、近鉄二上山駅前の再整備について、2つ目にどんづる峯の整備と観光地化の考えについて、3つ目に香芝市総合公園整備計画の進捗状況について、そして4つ目が近鉄二上山駅前の再整備についてです。

これらは、いずれも香芝市の西部に位置しており、西部地域では大阪府と隣接する地理的特性を有し、本市の西の玄関口として重要な役割を担っています。この地域の整備は、単に地域住民の生活環境の向上にとどまらず、香芝市の都市ブランドの向上や、さらには将来的な交流人口の拡大にもつながる重要な政策課題だと考えています。

現在、本市の北部地域では、香芝市総合スポーツ公園の整備が進み、まちの新たな魅力創造に向けた取組が進められています。一方、西部地域においては、令和2年に閉園された香芝市総合公園プールなど再整備の進んでいない都市基盤が残されており、市民からの期待と要望が高まっています。

このような状況を踏まえ、西部地域におけるまちづくりの環境整備の現状と今後の方向性についてお伺いし、将来の人口減少を見据えた持続可能なまちづくりを目指す上で、方向性を明確にしたいと考えています。

まず初めに、近鉄二上山駅前の再整備についてお伺いいたします。

都市基盤整備の基本となる都市計画において、近鉄二上山駅周辺の再整備はどのように計画されているのかをお聞きして、壇上からの1つ目の質問を終わります。

○都市創造部長 近鉄南大阪線二上山駅の東側に都市計画道路畑分川線の一部として2,500平米の交通広場が昭和54年に都市計画決定されている状況でございます。

○木下充啓 本市の中には多くの都市計画道路が計画されており、現在のごみ焼却場北側、美濃園の北側ですね、畑分川線の最北部である第1工区や香芝市総合スポーツ公園近くの尼寺関屋線の工事を行っています。それ以外のほとんどがこれからの整備になると思います。

令和7年3月に策定されました香芝市街路整備計画では、都市計画道路の畑分川線の中でも西南部の二上山駅の駅前広場はどのような計画になっているのでしょうか。

○都市創造部長 令和7年3月に策定した香芝市街路整備計画においては、着手時期の観

点から路線を3つに区分しております。1つ目は、今後おおむね5年以内での着手を目指す早期着手路線で、2つ目は早期着手路線の事業実施状況や財政状況等の事業実施環境を踏まえつつ、できる限り早期の着手を検討する着手検討路線、3つ目はその他の路線でございます。

ご質問の都市計画道路畑分川線のうち近鉄南大阪線二上山駅の駅前広場については、早期着手路線及び着手検討路線のいずれにも位置づけていない状況であり、その他の路線であるため、現時点では具体的な整備計画はございません。

以上でございます。

○木下充啓 それでは、二上山駅の駅前広場の着手、それから完成というのはどれぐらいをめどに考えればいいのか、その駅前広場の拡張の可能性や将来のビジョンについてお示しいただけますか。

○都市創造部長 本市として都市計画道路の整備については、令和7年3月に策定した香芝市街路整備計画に基づき、穴虫田尻線及び尼寺関屋線について令和7年度に予備設計、令和8年度に詳細設計及び用地測量を実施し、用地交渉を開始し、令和9年度に工事着手するほか、遅くとも令和8年度前半までに近鉄大阪線五位堂駅南側駅前広場整備基本計画の策定を目指している段階であって、他に複合施設の整備等の大型事業を控えている中で、近鉄南大阪線二上山駅に係る駅前広場の整備の具体的な時期を示すことは困難でございます。

ただし、同駅西側における広場から国道165号までの道路については、拡幅事業に取り組むなど、暫定的な整備については進めている状況でございます。

以上でございます。

○木下充啓 165号線からの進入路については、中項目の(2)でまたお聞きしたいと思いますが、今の答弁をお聞きする範囲では、二上山駅周辺の駅前広場については整備の計画は当面ないという、そういう認識でいいかとは思いますが、畑分川線の南部の整備、二上山駅の駅前広場もまだまだ先の話ということになると、それは都市計画道路の優先順位や買収もあることなどから、期間を有するというのは致し方ないと思います。

ただし、そのような中で、地域として暫定的な整備でも改善を求める声が上がっていると思いますが、それまでに寄せられました地域の要望にはどのようなものがあつたのか、改めて教えていただけますでしょうか。

○都市創造部長 平成27年7月と令和6年6月に畑自治会、穴虫西自治会、穴虫二上自治会の3自治会から合同で近鉄南大阪線二上山駅周辺の道路等の整備についての要望を受けております。

以上でございます。

○木下充啓 その要望の中でも、先ほど少し言及されましたが、165号線から二上山駅に至る道路の整備が求められていると思います。国道と接する市道は非常に狭く、車両、歩行者共に見通しが悪いためにその危険が指摘されているところです。それにつきましては、これまでどのような事業を進められてきたのか、ご説明いただけますでしょうか。

○都市創造部長 二上山駅駅前広場の整備及び道路拡幅のための用地取得の交渉を進めてまいりましたが、用地交渉につきましては難航していた状況でございます。

以上です。

○木下充啓 現地を見ますと、国道165号と市道の交差点の南西の土地が更地に現在なっています。この用地を活用して、交差点から二上山駅に至る進入路の拡幅を行うことができると思いますが、いかがでしょうか。

○都市創造部長 令和6年度に近鉄南大阪線二上山駅西側の広場から国道165号までの区間の道路確認、調査を実施しており、ご指摘の用地の取得も含めて道路拡幅の計画をしているところでございます。

○木下充啓 それでは、その拡幅の事業のスケジュールはどのようになっているのでしょうか。

○都市創造部長 スケジュールでございますが、令和7年度に国道入り口西側の用地交渉を行っており、年度内に用地の取得ができた場合は令和8年度に工事に着手する予定でございます。

以上でございます。

○木下充啓 買収の相手もあることですので、なかなかスケジュールは確定させにくいとは思いますが、安全面での懸念もありますので、早急に工事に着手していただきますようお願いをいたします。

「どんづる峯の整備と観光地化の考えについて」

○木下充啓 続きまして、どんづる峯整備と観光地化の考えについてお聞きます。

まず、どんづる峯の現状と保全策ですが、どんづる峯は本市を代表する自然資産であり、奈良県の天然記念物にも指定された貴重な地質資産です。しかし、近年、その特徴である凝灰岩の岩肌の露出が減少していることが懸念されていて、自然景観の保全と活用の両立が求められています。これからの観光資源としての活用と持続可能な整備の在り方について伺いますが、まずこれまでどんづる峯周辺をどのように整備してこられたのでしょうか。

○市民環境部長 どんづる峯周辺の整備については、平成24年度に奈良県がどんづる峯南側入り口付近において公衆用トイレ及び駐車場の整備を実施しており、本市が引継ぎを受けて維持管理を実施しているという状況でございます。

以上でございます。

○木下充啓 トイレと駐車場についても活用されているので、観光地化については非常に有益であったのかなと思います。

それでは、凝灰岩の特徴のあるどんづる峯ですが、そこに対しての整備はどのようになっているのでしょうか。

○市民環境部長 平成30年度に本市がどんづる峯南側入り口において遊歩道整備及び案内

看板の設置を実施しており、令和6年度にどんづる峯展望台あずまやの改修を実施してございます。また、令和元年度より散策ルートや広場に繁茂する草木の刈払いや枯損木の伐採を実施しており、利用者の安全確保に努めているところでございます。

以上でございます。

○木下充啓 草木や枯れ木ですね、枯損木というのはね、枯れ木の処理をしていただいているということなのですが、一昨年ですかね、久しぶりに私もどんづる峯に行きましたが、その際にどんづる峯の特徴である凝灰岩の真っ白な岩肌が露出が減っていて、それも色も少し赤茶けてきたかなという印象を持ちました。凝灰岩の岩肌の状況をどのように見ておられるのでしょうか。

○市民環境部長 ドローンによる空中写真撮影によるデジタル画像の解析の実施と統合した立体的モデルや静止画像を用いて凝灰岩の経年観測を実施してございます。調査を開始した令和元年度以降については、凝灰岩の明確な減少は確認できてございませんが、多くの方から凝灰岩が少なくなったとのご意見をいただいているため、引き続き経年観測を実施していく考えでございます。

以上でございます。

○木下充啓 令和元年度以降は凝灰岩の岩肌に変化はないということですが、そういうことになると、私が子供の頃に見たどんづる峯から約半世紀にわたって徐々に減少、変色してきたということが言えるんじゃないかと思いますが、その原因はどこにあるとお考えですか。

○市民環境部長 調査に当たっている地域林政アドバイザーによりますと、来訪者の増加により岩肌が削れ、靴についた土が少しずつ岩の部分を覆うことで草木が侵食し、白い岩肌の露出が減少しているのではないかという見解でございます。また、その落ち葉等が堆積することにより、変色して見える可能性も指摘されてございます。

以上でございます。

○木下充啓 そうですね。原因の一つかなとも思いますが、いろいろ気候変動や公害などの問題もあるのかなというふうには思います。

しかし、どんづる峯は奈良県の天然記念物に指定をされていまして、その奇岩群を保全していくことは本市の責務でもあると思います。

凝灰岩の変色を抑え、どんづる峯の名前の由来でもある白い岩肌を保護するためにどのような対策が可能なのか、教えていただけますか。

○市民環境部長 草木が侵食しないよう、引き続き草刈りや伐採等の定期的な維持管理を実施し、岩肌の保護に努めてまいります。また、どんづる峯を訪れる方に対してポールキャップを装着していないトレッキングポールなどの岩肌の削れやすい器具の使用を控えるように求めるなど、注意喚起するための看板を製作しているところでございます。

今後、香芝市総合公園の整備の段階でどんづる峯を将来にわたって保全していくための措置についても必要な対策を盛り込んでいきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○木下充啓 また、次の項目でもお聞きしますが、香芝市総合公園と一体化した整備というのは非常に重要だと考えています。それに、どんづる峯の保全に関しては、原因究明をしっかりしていく、その原因を除去することによって保全に努めるということが重要だと思いますので、引き続き調査研究をお願いしたいと思います。

続きまして、観光資源としての活用方針についてお聞きします。

どんづる峯の観光資源としての活用については、本市の知名度を上げるためにも重要だと考えますが、どんづる峯への年間の来訪者はどれぐらいだったか、把握されてるのでしょうか。

○市民環境部長 令和元年度から令和6年度までのどんづる峯の来訪者数の推計値でございますが、平均で単年度当たり8,000人となっております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和された令和5年度は7,688人、令和6年度は1万431人となっております。

以上でございます。

○木下充啓 ありがとうございます。

平均の8,000人というのは、ほとんどコロナ禍も含めてのことだと思いますので、直近の1万人というのが大体の来訪者数かなというふうに認識しますが、その来訪者の方というのはどちらから来られているのか、市内なのか、県内の他市町村なのか、それとも奈良県外から来られているのか、その状況は把握しておられますか。

○市民環境部長 令和元年度から令和6年度までに実施したアンケート調査では、市内17%、奈良県内他市町村21%、奈良県外62%と確認してございます。

以上でございます。

○木下充啓 約8割の方が香芝市外からお越しになっているということですので、香芝市を知っていただくためにどんづる峯を整備していくというのも非常に有効ではないかなと思います。

これまででもどんづる峯や二上山と合わせて観光資源化して活用すべきだという意見は、過去の議会でも多くありましたが、改めて観光資源としての活用の可能性、もしくはより活用のレベルを引き上げていくというお考えはいかがでしょう。

○市民環境部長 どんづる峯は、奈良県の天然記念物に指定されており、またダイヤモンドトレイルの起点であることから、観光資源として活用できる可能性は十分にあると考えてございます。

今後はダイヤモンドトレイルの起点のまちとして、中・長期的に観光振興も目指していきたいと考えてございます。

以上でございます。

○木下充啓 それでは、観光資源化してにぎわいの創出や香芝市の知名度を上げていくというために、他府県や県内の他市町村からの来訪者を増やしていく必要がありますが、どの

ようにして増やしていくのか、その方策についてお聞きします。

○市民環境部長 引き続き、来訪者が安全に散策できるルート整備を実施するとともに、今後整備を予定している香芝市総合公園と一体的な利用ができるよう取り組むことで来訪者の増加を図りたいと考えてございます。

○木下充啓 ご答弁いただきましたとおり、来訪者を増加させるためには現在の資源だけでは不十分ではないかと思えます。隣接する香芝市総合公園と一体として整備することがより一層効果的な資源開発となると思えますので、その点を踏まえた整備のほうをお願いしたいと思います。

続きまして、中項目の(3)つ目、整備と保護に係る財源確保の方策についてお聞きをいたします。

これまでも遊歩道の整備や草木の伐採など維持管理にコストをかけていただいています。維持管理費は観光地の収入で賄えるようにするのが好ましいとは思いますが、今のところそれも不可能で、全てというわけにはいきません。しかし、それも総合公園と一体運営して収益化ができる可能性もあるかと考えます。

しかし、それまでに継続的な維持管理コストが必要ですので、まずこれまで維持管理にどれぐらいのコスト、年間のコストをかけてこられたのか、お聞きします。

○市民環境部長 現状の草刈りや枯損木の撤去等の維持管理費用として、令和7年度予算でございますが、135万円を計上してございます。

以上でございます。

○木下充啓 どんづる峯を観光資源として利活用するためには、凝灰岩の岩肌を保護し、美しい白色を復活させるなどの対策を取る必要があると思えますが、そのためには様々なコストが発生します。これから発生するそういうコストについては、どのような資源確保を行っていくのでしょうか。

○市民環境部長 どんづる峯を観光資源として整備するに当たっては、これまで国の交付金の活用を図っており、平成30年度には国の地方創生推進交付金により遊歩道の整備を実施しているところでございます。

以上でございます。

○木下充啓 過去については、国の地方創生推進交付金を使われたということです。今後、新たに追加で発生する整備コスト、これは何にどれだけ費用をかけるかということにもよりますが、また費用が発生してきます。そのために、ふるさと納税や国、県の補助金など活用が可能なのでしょうか。

○市民環境部長 新たに整備する事業の内容にもよりますが、国や県の補助金としては、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金、奈良県文化財保存事業費補助金の活用が可能であると考えております。また、ふるさと納税の活用についても可能であり、これまでも香芝市ふるさとまちづくり基金や企業版ふるさと納税を活用してどんづる峯の整備をした実績がございます。

以上でございます。

○木下充啓 奈良県の文化財保存事業費補助金、それはどのような事業費が対象になるのでしょうか。

市民環境部長 奈良県文化財保存事業費補助金の対象としては、天然記念物保存整備、公開活用及び天然記念物再生等に係る事業がございます。

以上でございます。

○木下充啓 ということは、枯損木の除去や白い岩肌の回復など、そういった保全につきましても補助対象になると思いますが、その補助金を活用して保全、整備を進めていくということでしょうか。

○市民環境部長 天然記念物の保存や再生と文化財としての価値を向上させる事業が奈良県文化財保存事業費補助金の対象となりますことから、該当事業の実施時においては活用する考えでございます。

以上でございます。

○木下充啓 ありがとうございます。

次、香芝市総合公園整備計画の進捗状況についてもお聞きしますが、ぜひ一体としてどんづる峯の観光地化、整備も進めていただきたいと思います。

「香芝市総合公園整備計画の進捗状況について」

○木下充啓 続きまして、大項目の3つ目、香芝市総合公園整備計画の進捗状況についてお聞きいたします。

令和5年度に策定されました香芝市みどりの基本計画において、香芝市総合公園の整備は香芝市総合スポーツ公園の整備と並ぶ重点プロジェクトとして位置づけられています。一方で、限られた財政の中で他施設との整合的な予算配分が求められる中、計画的かつ効率的な整備が必要です。総合公園の整備状況と課題についてお聞きいたします。

まず、香芝市総合公園の整備の現状とこれまでの進捗についてお聞きいたします。

○都市創造部長 香芝市総合公園は、昭和54年に都市施設として都市計画決定に定めております。昭和55年に工事に着手して、昭和59年に50メートルプール、昭和60年に流水プール及び滑り台プールの供用を開始していましたが、令和2年に施設を休止させて現在に至っております。令和6年10月には三橋市長も現地視察を行い、香芝市総合公園の早期整備に向けて指示を受けており、現在官民連携手法の導入も含めて検討しておる状況でございます。

以上でございます。

○木下充啓 進めていただいているということですが、その基本構想を実施していくに当たりまして、現状の問題点や課題をどのように整理されているのでしょうか。

○市長 基本構想は少し問題がございますが、都市創造部長に答弁させるのはちょっと酷

かなと思いますので、私から答弁いたしますが、香芝市総合公園整備基本構想につきましては、令和6年度に前市長の決裁に基づいて多額の費用をかけて業務委託していたものでございます。私、就任直後からこの業務の在り方については問題がある旨を指摘してございましたが、時既に遅しというところでございまして、その成果品の内容を見れば、職員自身が短期間で策定することができるようなものであって、抽象的な記載しかないというものでございます。その内容を実施していくに当たって、何を実施すればいいか分からないというようなものでございます。一定の成果が得られるように努力をしたものの、実際に策定された内容については、先ほど申し上げたように大きな事業の進捗は見られないものと言わざるを得ないものでございました。

しかし、現在令和7年度におきまして、官民連携手法の導入も含めて検討しているところでございまして、具体的にはP a r k－P F Iなど民間資金の活用について、国土交通省や内閣府にも助言をいただきながら検討を進めているところでございます。

一般的に考えられるものとして、現時点で考えられる問題点や課題といたしましては、香芝市総合公園は国道165号の両側に約10.9ヘクタールの計画区域がございますので、この計画区域全体を整備するための財源確保、また国道165号香芝柏原改良の事業区域と香芝市総合公園が一部重なる部分がございますので、国道の工事の進捗状況に影響を受けるものが考えられてございます。問題点や課題としては、以上のようなものが考えられるのではないかと思います。

以上でございます。

○木下充啓 現在の基本構想については、多少問題があるため、やや手法を変更して進めていくと。そして、問題点、課題としては財源の確保と165号の改良の進捗状況によるということと認識をいたしました。

現在あるプール跡地やその施設についてはどのようにしていくおつもりでしょうか。再利用は可能なのでしょうか。

○都市創造部長 現在プール施設の跡地に残っています50メートルプール、流水プール、滑り台プールなどの施設は撤去して整備を行うものと考えております。管理棟など再利用の検討が必要な施設は、香芝市総合公園整備基本計画において検討を行う予定でございます。

以上でございます。

○木下充啓 分かりました。

それでは、中項目の(2)つ目としまして、香芝市総合公園基本構想の整備方針についてお聞きしたいと思いますが、令和6年度に策定しました香芝市総合公園基本構想において、これ多少問題があるということではありますが、その公園整備の基本理念はどのようなものでしょう。

○都市創造部長 香芝市総合公園基本構想では、整備のコンセプトなんですけども、「どんづる峯へ続く森に包まれて子供も大人も笑顔になる新しいふるさとのシンボル公園」と定めております。香芝市総合公園が人口が増え続ける本市の未来を象徴し、これからの香芝市

民にとってふるさとのシンボルとなる公園となることを目指して整備を行ってまいります。

以上でございます。

○木下充啓 ふるさとのシンボルとなる公園を目指すということです。

基本構想の段階ではありますが、今の香芝市のふるさとのシンボルとなる公園、その公園整備のコンセプトからどのような施設を誘致、設置する方針なのでしょう。

○都市創造部長 香芝市総合公園基本構想における整備のコンセプトとして、国道の西側では自然を体験して学ぶエリア、国道の東側では遊びと集いを楽しむにぎわいエリアと位置づけて導入施設の検討をしております。その中で、導入施設につきましてはイベント広場、芝生広場、トイレ兼休憩所、複合遊具、健康遊具等がございます。具体的には、基本計画等において今後定めていく予定でございます。

○木下充啓 国道の西側というのは、どんづる峯側、東側というのが総合公園プール跡地ということでよろしいですね。はい。分かりました。ぜひ前向きに進めていっていただきたいと思います。

また、これに関しましても、財政負担と資金調達の在り方についてお聞きしたいと思えます。先ほど、P a r k－P F Iのお話が出ましたが、香芝市総合公園整備事業には現時点ではどれぐらいの費用がかかると試算されているのでしょうか。

○都市創造部長 具体的な整備の方法や導入する施設などの条件によりますが、令和6年度に策定した基本構想において算出した概算事業費は、約20億円ないし30億円程度と見込んでおります。

以上でございます。

木下充啓 20億円から30億円とかなり広い幅があると思いますが、未確定な部分が多い中では仕方がないのかなと思います。

また、P a r k－P F Iの活用方法についても改めてお聞きしたいと思えますが、その財源はどのように確保していく計画なのでしょう。

○都市創造部長 香芝市総合公園整備事業には多額の事業費が想定されることから、基本的には本市にとって有利な国の補助事業等を活用することを考えております。

以上でございます。

○木下充啓 ぜひ有利な補助金を活用していただきたいと思えますし、P a r k－P F Iによる民間の資金の活用ということも、場合によっては可能なかなと思えます。

ただし、市の一般財源から拠出することになる資金も相当な額になると思えます。香芝市総合公園や、ほかにも総合スポーツ公園、それから複合施設やそのほかの老朽化した公共施設の更新など、今後多額の費用を必要とする事業が集中してくる時期が来ます。これまでの基金の積立てもありますが、その積立ても限度、限りがあります。長期的な財政計画の下、進めていっていただきたいと思えます。

最後に、具体的な取組についてお聞きします。

○都市創造部長 香芝市総合公園の整備に当たっては、国土交通省の民間提案型官民連携モデリング事業を活用し、官民連携手法の導入を目指すこととしております。官民連携が可能であれば、令和8年度以降に参加業者を公募等により選定し、整備に向けて進める見込みでございます。

また、国道165号香芝柏原改良の事業の進捗によっては、香芝市総合公園の整備にも影響があるものと想定しておりますが、まずは国道の東側の区域について整備事業を先行して進めたいと考えております。

以上でございます。

○木下充啓 PFIで民間の資金とノウハウを活用できればそれにこしたことはないと思いますが、それもなかなかいろいろなハードルがあるように思います。165号線の改良工事の進捗も関係しますが、財政面での課題がクリアになれば、ぜひ早期の工事着工をお願いしたいと思います。

「近鉄二上駅前の再整備について」

○木下充啓 続きまして、近鉄二上駅前の再整備についてお聞きしたいと思います。

近鉄二上駅前は、市内に8つあります鉄道駅の中でも2番目に乗降客数が多い非常に重要な交通拠点でありながら、駅前のロータリーなど駅前空間は十分に活用されているとは言いがたい状況です。駅前空間の有効活用と景観の向上についてお伺いいたします。

まず、ロータリーの植栽について、以前の一般質問でもお聞きしましたが、近鉄二上駅北側のロータリーは、夏になれば雑草が繁茂する時期が長くあります。植栽管理について、改めてお聞きいたします。

○都市創造部長 近鉄大阪線二上駅前広場の植栽管理につきましては、他の駅前広場と比べて草木が多いため、年3回、6月、9月、11月の除草及び剪定を行っております。

以上でございます。

○木下充啓 以前は年2回の除草作業を行っていただきましたが、それを3回にしていたことにより、比較的雑草が繁茂する時期は短くなったのかなと思います。その点、非常に感謝しております。

しかし、駅前の景観を維持するためには、現在のロータリーの構造では多額の費用を要し現実的ではないと思います。手間がかからずに美しい空間を維持する、そういった方法はないのでしょうか。

○都市創造部長 管理部分につきましては、市で管理するのが一番ベストとは考えておりますが、地域の団体の方に公園の美化等を頼むということも他市では行われてますんで、そういった事例も研究している状況でございます。

以上でございます。

○木下充啓 ボランティアの活用、協業についても以前の一般質問で検討をお願いしてお

りますが、その点についての進捗状況はいかがでしょう。

○都市創造部長 地域の団体が公園の美化、維持管理及び公園施設の点検を行っていただく制度について、他市の事例など、今答弁しましたが、研究を行っております。現在、市内の公園の道路の植栽の管理については、業務委託、自治会委託及びまちづくり提案活動支援事業を活用した団体等において実施しており、それぞれの役割分担について調整を行うなどして行っている状況でございます。

以上でございます。

○木下充啓 ありがとうございます。

駅前の空間は年間を通して美しいものであってほしいと思います。そして、そこに費用をかけ過ぎることもできませんので、民間ボランティアとの協業、そして民間ボランティアが取り組みやすい仕組みづくりをぜひ研究して進めていただければと思います。

次に、憩いの場としての駅前空間の活用についてお聞きします。

現状では、駅の北側、南側のロータリー共に利用状況の低さや景観の観点から、駅前の好立地を有効に活用しているとは言い難い状況であると思います。その再整備の可能性についてお聞きします。

○都市創造部長 近鉄大阪線二上駅北側駅前広場については、簡易的な再整備計画を既に策定しており、歩行者が利用できる飲食スペースや子供たちの遊び場を整備し、マルシェや地場産品物産展を開催してにぎわいを創出し、周辺地域の活性化を図っていく方針でございます。また、同駅西側の関屋第5号踏切については、近畿日本鉄道株式会社と拡幅に向けて協議を進めているところでございます。

これらの整備については、新しい地方経済・生活環境創生交付金、第2世代交付金の活用を目指して、令和7年1月の募集に対して採択されるよう、短期間のうちに努力してまいりましたが、結果としては免責要件に適合せず、採択されないこととなっております。これを受けて、現在は同駅周辺においては子供たちのための遊び場が少ないため、子供の遊び場の整備としての位置づけを明確化した上で、こども・子育て支援事業債の活用を目指して調整を重ねているところでございます。

以上です。

○木下充啓 補助金や市債については、いろいろな可能性を追求していただいているということで、引き続きお願いをしたいと思います。

整備に関しましては、大変時間がかかる問題だと思いますが、ぜひ駅前の再整備を実現させていただきたい。そして、美しい駅前空間、有効な駅前空間を造っていただきたいと思います。

その際には、将来的な利用の多様性に柔軟性を持たせること、それから維持コストを極力抑えるなど、そういった取組に留意をしていただき、地域住民にとって魅力的な空間、他市から来られる来訪者が憧れるような駅前空間を造っていただきたいと思います。

香芝市には、公園や公共スペースが多くありますが、二上駅前に公共スペースを設置でき

たとすれば、そのスペースは市の公共施設としてどのような位置づけになるのでしょうか。

○都市創造部長 近鉄大阪線二上駅の乗降客数の向上及び同駅周辺の活性化を目的として、同駅北側駅前広場を再整備する必要があると考えております。

以上でございます。

○木下充啓 活性化もそうですし、地域住民の、先ほどもありましたが、シビックプライドにもつながると思います。

近鉄との交渉や財源の確保など課題も多々あると思いますが、整備するとなるとどのようなスケジュールで進められることになるのでしょうか。

○都市創造部長 現在は、こども・子育て支援事業債の活用を目指して調整を重ねている段階でございます。その適債性については、確かな結論が出ているわけではございません。現時点において再整備のスケジュールをお示しすることはなかなか難しい状況でございます。しかし、早期に整備を目指していることは変わりがなく、財源が確保できることとなった際には、速やかに事業化を図りたいと考えております。

以上でございます。

○木下充啓 いろいろ課題はありますが、ぜひ早期に着手していただくようお願いを申し上げます。

今回の質問は、これで以上ですが、主に近鉄二上山駅周辺、それからどんづる峯、香芝市総合公園、近鉄二上駅などの市の西部地域を中心に整備の方針やスケジュールについてお聞きをいたしました。香芝市の玄関口の一つであり、観光と暮らしの交わる地域の今後の整備に期待するところです。

一方、財政面では今後人口減少が進むと予想される中、多額の費用を要する事業が多く控えています。中・長期的な財政計画と財政規律を重視しつつも、必要な事業には的確に資金を投入して進めていただきますようお願いを申し上げて、今回の質問を終わります。真摯でご丁寧な答弁をいただきまして、ありがとうございました。